

# 自学習習慣や職業観のない生徒を、きめ細かい教科&進路指導で主体的に変えていく

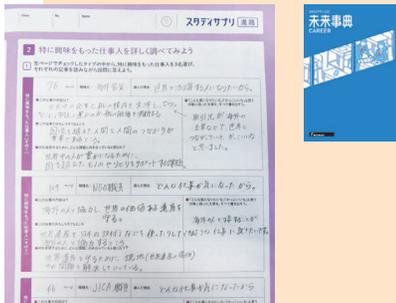
古河第三高校 (茨城・県立)

【活用キーワード】 >> 自己分析 適職発見 学校・学部研究

## スタディサプリを活用したキャリアプログラム

### 1年生 自己発見

- 4月 進路希望調査①
- 5月 進路部長講話
- 6月 生徒意識調査①
- 7月 『適性診断』実施。  
結果を受け、希望者面談  
進路講演会(保護者)  
オープンキャンパス参加
- 9月 文理分け説明会(生徒・保護者)
- 10月 進路希望調査②  
キャリアガイダンス  
OB・OGを中心に、実際に活躍している  
20職種の先輩を招き、生徒は3つの職業  
を選んで話を聞く
- 11月 文理選択  
『未来事典CAREER』を活用



「ワークシートの『未来計画表』と『自己理解表』がセットになっているのが、いいですね。自分を振り下げるのは難しいですが、未来につながる種が過去にあるかもしれない」と生徒に伝えて、書かせています」と木村先生。

### 2年生 自己発展

- 4月 進路希望調査①
- 6月 生徒意識調査①
- 7月 『分野選びBOOK』活用  
オープンキャンパス参加  
『大学詳細比較ワークシート』活用



「大学の詳しい情報を、A3一枚にまとめて比較できるので、とても便利です。主体的に取り組んでいる生徒ほど、ざっしり書き込んできます」と須堯先生。

- 8月 2泊3日サマーセミナー(勉強会)
- 9月 大学による学部学科説明会
- 10月 進路希望調査②
- 11月 生徒意識調査②

取材・文／丸山佳子

**課題**  
進学希望99%。具体的な進路が描けていない生徒をいかに動機付けしていくか

「古河市に普通科の進学校を」と、地元の要請で51年前に誕生した古河第三高校。当初は東大合格者も輩出したが、進学率が落ち込んだ90年代を経て、05年からの学校改革でV字回復。現在は、毎年40〜50人が国立大学に合格している。「生徒の99%は進学希望。一応、進学校と言っていますが、入学時の生徒の点数は決して高くはなく、自学習習慣、職業観もなく、具体的な進路も描けていません。そこでまず、課題提出や小テストを最後までやり切らせる徹底した指導で、『成績が上がった』『やればできる』ということを実感させます。学力の向上に加え、職業観を育て、学びたいことを見つけていく動機付けが進路実現の大きな課題。当校では、1年次を自己発見、2年次を自己発展、3年次を自己実現として、進路指導を進めています」と、進路指導部長の塚越哲也先生。

**活用**  
サプリのワークシートを活用した手厚い面談を重ね、生徒の意識を変える

自己発見がテーマの1年次は、スタディサプリの『適性診断』『未来事典』を活用。「入学時は進路が描けていない生徒がほとんどなので、7月に『適性診断』を行い、9月の文理分け説明会前までに視野を広げるようにしています。興味分野以外に適性ありと診断されたりすると、生徒は真剣に考え始めるので、面談チャンス！夏休みから文理分けまでの時期は、面談ラッシュです」と1年主任の木村亜紀子先生。また11月には、仕事について学ぶ『未来事典』とワークシートを活用している。「文理選択前に多くの仕事を見せても生徒は悩むだけ。選択後の方が、具体的な仕事イメージしやすいと考え、この時期に行っています。『1年次を振り返って今後の生活を考えてみよう』と実施した2つのワークシート(未来計画と自己理解)は格好の面談材料になり、2年次もキチンな準備を

なげるツールにもなりました」と木村先生。

自己発展がテーマの2年次は、学びたいことを絞り込むと同時に、情報収集力を身に付ける時期。生徒がオープンキャンパスに参加する前にスタディサプリの『分野選びBOOK』を渡し、自分に合う分野を比較研究してもらおう。夏休み前には入試情報から納入金なども比較できる『大学詳細比較ワークシート』を渡し、2年次で国立2校、私立2校の最低4校の比較を宿題にするなどの活用をしている。「宿題ができてなければ、面談。生徒から『国際分野希望ですが、学部が多すぎて選べない』といった声が出たら、『学校&学部BOOK』で調べてもらったうえでまた面談。自分で情報を集め、悩みながら比較検討している生徒とは、面談のスタートラインが上がり、深い話ができます」と2年の進路担当、須堯侑子先生。結果が出るまでやり切らせる徹底した教科指導と、ツールを活用して考えさせながら行う手厚い面談の両輪が、生徒の意識を変え、自己実現につながっている。



前列右：進路指導部長 塚越哲也先生(英語科)  
前列左：進路指導副部長 江田慶彦先生(数学科)  
後列右：進路指導部 須堯侑子先生(英語科)  
後列左：進路指導部 1年主任 木村亜紀子先生(国語科)

**School Data**  
創立1969年 / 普通科(男女) / 生徒数673人(男子359人、女子314人) 進路状況(2019年3月実績) 大学177人、短大6人、専門学校29人、就職6人、その他13人